

【日 時】 令和3年6月28日(月)午後2時00分～午後3時06分

【場 所】 常総市役所石下庁舎会議室

次 第

- 1 開会
- 2 説明
 - (1) 今後の小中学校適正配置の方向性に関する意見交換について
 - (2) 保護者へのアンケート(案)について
- 3 その他
- 4 閉会

出 席 者

委 員：草間 典夫委員，風野 芳之委員，馬渡 剛委員，川島 佑介委員 篠崎 孝之委員
橋本 武夫委員，中久喜 幸男委員，瀬高 欣一委員，大江 市郎委員，
入山 伸一委員，荒木 裕一委員，伊藤 和芳委員，深谷 和美委員，古谷 和之委員
岡野 顕委員，江連 彩委員，佐藤 早苗委員，服部 仁一委員，宮川 敬子委員
事 務 局：小林 寛明教育部長，西村 聡学校教育課長，黒崎 久男教育政策室長，
金子 浩也教育政策係長，藤田 寛史教育政策係主事

事務局

本日は、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。
皆さまお揃いになりましたので、これより、常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会を開会いたします。

私は、常総市教育委員会学校教育課の西村と申します。本日の進行を務めさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

なお、この検討委員会は、設置条例第6条で「委員過半数が出席しなければ会議を開くことが出来ない」とされております。本日の出席委員は25名中19名となっており、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

順番に、「次第」、「資料1」、「資料2」、「会議要旨」でございます。

以上4点となりますが、資料の不足はございませんでしょうか。

ないようであれば、設置条例第6条に基づきまして、会長に議事進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

会長

それでは、次第に従いまして議事を進めます。

次第の2の説明1として、「今後の小中学校適正配置の方向性について」、ご協議いただきたいと思います。

事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料に基づき説明】

会長

事務局の説明について、ご意見・ご質問ございますでしょうか。

前回の会議でお示ししました事務局案に対して、一度お持ち帰りいただいたわけですが、改めてこの事務局の考え方に対する、率直なご意見やご質問をいただきたいと思います。

委員 A

市内どこの学校もそうだと思いますが、100年以上の歴史を持っています。

これは大変重い歴史になります。この重い歴史を痛感していただいて合併に向けて進んでいただきたいと思います。

そして合併にあたっては、現役のPTAの皆様が大決断をしなくてはならないわけがあります。また、先ほど言いましたとおり、100年以上の歴史があるわけですから地域の有志やシルバー会、諸先輩方の皆さんがたくさん地元におられます。

その皆様にも、納得いただけるような周知活動を行っていただきたいと思います。

地元においても様々な団体が関係しておりますので、諸先輩方のご了解をいただきながら進めていただきたいと思います。

そのような周知活動の際には、我々自治区代表者と上手く連携していただきたいと思います。

最後に、10年15年して、合併が成立した暁には、誰もが納得できるような合併ができればよろしいかなと思います。

会長

当然、ここに至るまでは歴史というものもありますので、多くの方々の理解や、これから小学校を利用する子供たちのことを考えながら、慎重に進んで欲しいという意見でありました。

15年、20年先がどのようなことになっているのか予測するのは、容易ではないのですが、英知を集めながら進めていきたいところでございます。

他にいかがでしょうか。

委員 B

第2回の会議録を拝見した中で、資料1に、第2段階は3年から5年、第3段階は10年から15年と説明されており、資料に明記したほうが良いという意見がありました。

確かに保護者にとって、統合がいつごろかというのが一番気になると思うので、期間を明示するのは非常に良い提案だと感じました。それを踏まえて2点ほど意見がございます。

まず1点目は、資料1裏面に第2段階は3年から5年、第3段階は10年から15年ということ書かれておりますので、わかりやすさという点で、表面の上部に、期間を明記したほうがよろしいかと感じました。

2点目として、第1段階については、極力早急に対応すべきということであり、具体的な年数が記載されていない状態となっております。ここについても、概ね何年後ぐらいを想定してるのかを明記できるのであれば、明記したほうが良いと感じます。

特に、第1段階の統合に該当する小学校の保護者については、気になる部分だと思いますので、ある程度の具体的な数字を明記したほうが良いと思います。

会長

確かにおっしゃるとおりです。どの方が見てもわかるようにした方が良いと感じます。1点目については、意見のとおり明記したほうが一目瞭然でありますので、ぜひご配慮いただければと思います。

2点目の意見は、第1段階についても具体的な期間を明記したほうが良いということですが、事務局どうでしょうか。

事務局

第1段階で想定している大花羽小が、来年度はすべての学年で複式学級になり、教育環境の点で最大の課題と考えております。

そのようなことから、極力早期に対応すべきという表現を使いました。

また、第1段階の鬼怒中についても、2クラス以上の学級が望ましいところ、1クラスしかない状況が課題となっております。このような状況を考えた結果、極力早期に対応すべきという表現を使わせていただいております。

会長

ありがとうございます。

他にご意見ございますでしょうか。

- 委員 C いろいろな考えがあるとは思いますが、私はPTAの立場で参加させていただいております。
- 現役の子供を持つ親の立場から考えますと、早急に舵を切ってほしいと思います。ただ、早急に統合してくださいと言っても、歴史もあります。
- 地域には必ず我々子育て世代もいれば、おじいちゃんおばあちゃんもいらっしやいます。皆さんにきちんと納得していただいて、これから5年先、10年先、20年先を考えたときに、皆さんが発展していけるような舵切をしたいと思っております。
- 行政としてもしっかり説明していただいて、皆さん納得のうえでいい方向に進んでいければいいと思います。
- ただ現場の声として、早めに統合をしていただいたほうが子供たちのためにもいいと思います。
- 会長 子供たちのことを考えたご意見であります。
- 他にご意見ございますか。
- 委員 A 資料1の事務局案ですが、五箇小と大生小が先行した合併と示されております。これにはなにか特別な理由があるのでしょうか。
- 地域としては、五箇小と三妻小が合併し、その後、大生小と合併する順序で進むと想定していました。また、鬼怒中学校に関しても、第1段階である想定はどのような理由があるのでしょうか。
- 事務局 平成22年の答申の際には、五箇小は三妻小との合併が提案されておりました。しかし、その後、平成27年の水害のときには、五箇小と大生小が合同で授業を行っていた経緯がございます。そして、位置関係上、バス一本で往来が可能になります。
- また、現在、三妻小には、第2保育所が入っている状況で、施設のキャパシティを考慮したときに、三妻小よりも大生小に合併したほうがいいのではないかと考えた結果から、このような案となっております。しかし、この案はあくまでたたき台であります。ただいまのようなご意見から検討していただければと考えております。
- 委員 A 三妻小に保育所が入っていることの話がありましたが、私のほうで三妻小の状況について話を聞いてまいりました。その結果、保育所が入っている現状はありますが、2つの校舎に空きがあるとのことでした。五箇小と合併したとしても、容量的には余力がある状態であり、規模的な問題はないと思います。
- ただ、問題なのは、鬼怒中が先行して水海道中と合併することであり、私としては、理解できていないところがあります。
- その理由は、アグリサイエンスバレー構想の影響による定住者を地元で誘致活動をしていくなかで、中学校だけでも存続させようというのが一番の目的となっております。

委員 A 　　ります。ですから、鬼怒中を第1段階に組み込んでしまうと、今後の活動の名目が一つ抜け落ちてしまうのではないかと懸念しております。何か理由があればいいのですがどうでしょうか。

会長 　　事務局お願いいたします。

事務局 　　今、話にもありましたが、第1段階について、水海道中と鬼怒中という形で単純に合わせたような形になっていますが、実際、エリア的に鬼怒中は、水海道中と石下中に分散していくような形になるのではないかと考えています。

鬼怒中を中心にして北側と南側で分け、水海道中と石下中に分散した場合、ちょうど同じぐらいの距離になる位置関係にあったと思います。実際に統合になった場合は分散という形になるかと考えております。

また、少し話は戻りますが、小学校について、大生小と五箇小と三妻小を第2段階にする形もあり得るのかなと事務局で考えました。

それと、第2段階について、3年から5年という形で考えているところでございますが、鬼怒中のところにつきましては、喫緊に課題が迫っている状況でございます。それは、1学年1学級というのが中学校の教育環境的に課題の多い状況だからです。

それがずっと続くことになると、通学している生徒のいろいろな可能性が狭まってしまう危険性を感じます。そのようなことから、極力早くということで考えておりました。

先ほど委員さんからも極力早くというのは、大体どれぐらいの肌感覚なのかとご質問がありましたが、その時には極力早く、早期にとお答えしましたが、教育環境という形から考えれば、数字的に申し上げますと、1から2年とっております。

ただ、このことについては、教育環境と地域コミュニティの維持という2点から考えていかなければならないので、肌感覚としては、1年から2年と考えているところでございます。

委員 A 　　切羽詰まっているということですので、鬼怒中と水海道中に関しては、理解しました。しかし、それでは、先に説明した、アグリサイエンスバレーと定住者の誘致活動についての名目が一つ抜け落ちてしまいます。

その名目を一つ残すには、五箇小と三妻小の統合を先行して行っていただければと思います。子供がいる若い方にとって定住するには、学校や医療の機能が整っている必要があります、それがなくなかなか難しいと考えます。

中学校が難しいのであれば、小学校を残してもらえれば、名目上成り立つかなと思いますのでぜひご検討願いたいです。

会長 　　中学校については、了解をいただきました。

小学校については、統合する順序を検討してほしいとのことで、その理由は、ア

会長 グリサイエンスバレー構想のことが抜け落ちているのではないかとご指摘でした。

事務局 ご意見ありがとうございます。
アグリサイエンスバレーの内容まで絡めてお考えいただいているというところで、大局的なご意見を頂戴しました。
十分参考にさせていただきたいと考えています。今の段階では事務局からは以上です。

会長 他にいかがでしょうか。

委員 D 今、委員からも話がありましたが、私も会議後に地元で何人かと検討委員会の内容について話をしたところ、五箇小はまず三妻小と合併ではないのかという話や、大生小とでは規模が大きくなるのではないのかといった意見が出ました。第3段階で、水海道小との合併とありますが、地域性を考慮すると五箇小、三妻小、大生小だけでもいいのではないのかという意見もありました。

やはり、自分の親世代というのは、アグリサイエンスバレー構想において、人口が増加する期待も見込んでおり、そうした場合に地域に小学校1つはあった方がいいと考える意見もあったところでございます。

また、第2段階で五箇小が大生小と合併なのか、三妻小と合併なのかという話については、学区のエリアにおいて近い学校との合併を望んでいる声もありました。

資料1のところに、統合後の学校ごとの児童生徒数推計の数字を組み込むと、より説得力が増すのではないかと考えます。

あと、鬼怒中に関して、例えば私の子供も6年生であり、来年はどうするのかという話もあるのですが、鬼怒中は近くていいという反面、部活動において選択の幅が狭まり、好きな部活を選ぶことができない状況もございます。

そのような状況では、部活動次第で水海道中に行く方もいらっしゃるのではないかと思います。そして、石下中も近いのですが、地域性においてなかなか足は向かないのかなという状況です。

このようなこともあり、鬼怒中に関しては、すぐに進めていただいてもいいのかなという意見が多くございます。

会長 はい、ありがとうございます。

今、お子さんをお持ちの親御さんからのご意見ということでございます。やはり、子供たちのことを考えるというのが大きなところになるかと思います。

これは前回も話があったところですが、今の話については事務局でもしっかりと考慮いただければと思います。

資料3で、本日、市内小中学校適正配置のご意見シートが配られておりますが、こちらのシートでは、今回会議の中で言いそびれたこと、あるいは、新たなアイデ

会長

イアについてお寄せいただければと思いますので、本日でなくともご意見ございましたら、お寄せいただければと思います。よろしくお願いいたします。

(1)「今後の小中学校適正配置の方向性」のご意見について、他はよろしいでしょうか

では、(1)「今後の小中学校適正配置の方向性」については、ここまでとさせていただきます。

続きまして、次第の(2)「保護者へのアンケート案」について事務局から願います。

事務局

【資料2に基づき説明】

会長

私から意見がございます。まず、問2でお子さんの学年はどちらですかという問いを選択し、小学校1年生と中学校3年生のお子さんが出た場合において、問3と問5については、小学校の場合と中学校の場合で回答結果が異なるのではないかとというのが1つ目です。

問4についても、複数選択最大三つまでとなっていますが、これは肯定的な理由を三つなのか、否定的な理由を三つなのか、あるいは、肯定的な理由、否定的な理由もそれぞれ最大三つなのか、よくわからないところがあります。

問3について、例えば、小学生と中学生のお子さんがそれぞれいらっしゃった場合に、どのように回答したらいいのかという点において、混乱する人がいるのではないかと思います。

問5について、問3では5段階で聞いた後に問4で肯定的、否定的という理由を聞いていましたが、問5で必要性を5段階で聞いた後に問4のような理由を聞く設問は新設しないのかということもあります。

また、問4についての選択数が肯定的な理由7つで、否定的な理由6つということのバランスを取らなくてはいけないと説明もありましたが、その必要性はないと思います。さらに、問4の中にその他で意見を書いてもらうようにする方法もあります。

皆様、何かご意見ございますでしょうか。

委員 E

私も会長と同じ意見であり、問4について、この中からの選択制ではなく、個々の様々な意見に対応できるよう、意見を書き込んでもらう方がいいと思います。

みんな一人一人意見は違うと思うので、選択肢の中から選ぶのはなかなか難しいのではないかと思います。

会長

そのとおりだと思います。

通常、このようなアンケートを実施する場合、パイロット調査を行います。今回も実施した方がいいと思います。

なお、アンケート実施はいつ頃を考えていますか。

事務局 7月上旬ぐらいで実施できればと思っております。

会長 それでは、パイロット調査は難しいですね。
他にいかがでしょうか。

委員 D 前回の会議の中で、登下校時のスクールバスについて、なにかしらの説明を明記するとありました。それによってもアンケートの答え方が変わってくるかと思えますので、ご検討いただきたいと思えます。

会長 委員のおっしゃられたとおり、条件つきというのはあると思えます。
統廃合に関して、肯定、否定という意見以外に、条件があり、それならば納得するという意見があるはずですので、その点が抜け落ちていると感じます。
他にご意見ございますでしょうか。

委員 F 問1、問2に関して、問2で就学前、小1から中3で複数選択とありますが、例えば、小学校6年生と幼稚園年長の子供がいる場合に、小学校に入学する場合と中学校に入学する場合を想定することになります。それにより、問4問5の回答が変わってきてしまうのではないかと考えます。案として、小学校の場合と中学校の場合で分けて回答することができるかと思えますが、どうでしょうか。

会長 よりきめ細かく聞いたほうが良いというご意見ですね。
事務局何かありますでしょうか。

事務局 ご意見をいただいたとおり、分ける形で進めたいと思えます。

会長 ご意見については、7月上旬を目途にお寄せいただき、皆様方の意見を反映したうえで精査し、進めていくとのことですので、よろしくお願ひします。
他にいかがでしょうか。

委員 B アンケートの中で、問3と問6の内容が類似していると感じますが、違いはあるのでしょうか。

会長 確かに重複してるようなところもありまして、初見だとなぜこれ聞くのだろうと思うかもしれません。
事務局お願ひします。

事務局 前回は、一般的な適正配置についてどう思うかを最初に聞いて、そのあとで、具体的な案について聞いていくとしていました。しかし、選択肢も同じで、内容についても同じことを聞いているようになりますので、設問の順序の入れ替えや、具体的

事務局 な枠組み案をお見せして、意見をお聞きするという形で修正を検討したいと思いません。

会長 はい。ありがとうございます。
他にどうでしょうか。

委員 G 今、お聞きしている中で考えたのですが、問3で、そもそも小中学校適正配置の全体について理解できるかどうかを聞いており、理解できる場合に問5問6へと繋がっていき、問5はスピード感、問6は枠組みを聞いている現状です。
それであれば、問5問6を問3の後につけて、問3を適正配置のねらいといった内容に変更し、そこから、適正配置のねらいについて理解できる場合には、時期についてはどのようにお考えですかという設問に繋がっていくようにする。そして、選択肢を、すぐに必要、すぐにではないが将来的には必要、わからない、そもそも理解できないので必要ではないと考える、という選択肢に変更し、問5問6を問3の後に移動するという方法が一つあります。
問5については、小中学校適正配置の必要性を聞いていますが、時期について、もう少しわかりやすく誘導するには、「お子さんの通学する学校において、小中学校適正配置に理解できる場合、時期はどのようにお考えでしょうか」と変更するのはどうでしょうか。
そして、問6については、その枠組み案についてどのようにお考えでしょうかと設問を設定し、理解できる、おおむね理解できる、どちらともいえない、そもそも必要だと考えないので理解できないという選択肢を設定する案がございます。もちろん文言については、検討事項であります。
最後に、問4を新問6として、「小中学校適正配置についてどのようにお考えですか、以下の中から選択してください」というふうに変更する。
また、複数選択最大3つまでということについて、先ほど会長からわかりにくいと意見もありましたが、私はそうではないと思っております。つまり、①番の理由については理解できるが、⑧番の理由については懸念しているため、結果として、どちらともいえないを選択することもあると思います。そのような意見を拾う意味でも、肯定的な理由と否定的な理由をまとめたうえで、複数選択するというのも考えられるのではないかと思います。ただ、肯定的な理由が7つで否定的な理由が6つという点においては、バランスを欠いて、誘導的と思われるかもしれないので、数はそろえるべきかもしれません。
その場合に、例えば、先ほど委員からお話がありましたとおり、伝統がなくなってしまうことや、地域愛がはぐくまれなくなるという意見を否定的な理由に付け加えて、選択肢を同じ数にするのはあり得るかもしれません。
そして、問1問2や問5の平均的な意見ということについて、わかりにくいというのであれば、お子さん1人につき1回回答していただくというのもありうるかと思えます。

いても検討しながら、アンケート実施に向けて進めたいと思いますのでよろしくお
願い申し上げます。

アンケートのご意見については、7月9日までいただければありがたいと思
います。

また、第4回目の検討委員会会議については、アンケートの集計結果を踏まえつ
つ、8月下旬から9月上旬ぐらいで開催を予定したいと思います。

それでは、以上をもちまして、令和3年度第3回常総市小中学校適正配置実施計
画検討委員会を閉会いたします。会議の進行にご協力いただきまして、ありが
うございました。

(終了午後3時06分)